

(様式第4号)

上田西部地域協議会 会議概要

1 審議会名	上田西部地域協議会
2 日時	平成27年5月22日 午後7時00分から午後9時00分まで
3 会場	西部公民館 1階 大ホール
4 出席者	涼委員、石塚委員、市村委員、小市委員、小宮山委員、渋谷委員、清水博夫委員、清水文彦委員、関口委員、高橋委員、田畑冴子委員、田畑裕康委員、瀨村委員、堀内委員、増田委員、宮下委員、山崎委員
5 市側出席者	水野地域振興政策幹、北沢市民参加・協働推進課長補佐、北沢市民参加・協働推進担当係長、樋口市民参加・協働推進担当主事
6 公開・非公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	平成27年6月23日

協 議 事 項 等

会議次第

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 会議事項

(1) 地域内分権の推進(担当課:市民参加・協働推進課)

- ・資料に沿い、地域内分権の担当課から説明
- ・以下、協議

(委員) 素晴らしいアイデアだと思うが、地区の課題は一つでない。自治会長は一日に会議が重なる程忙しく、住民自治組織を立ち上げる為の準備会を開くとなるとさらに会議が増えるため、今の会議や行事を整理する必要がある。会議を一つ増やせば一つ減らす必要があるという事も含めて私たちはどのようにすればいいか、説明してもらいたい。

(担当課) 地域内分権は自治会の皆様の参加、参画なくして進まないと思っている。平成24年度から地域内分権について説明する中で、そのような意見を多く寄せられている。市からどの会議を減らせるか等申し上げる状況にはないが、減らせるものがないかなどについて地域経営会議で検討していただきたい。

(委員) 地域協議会では地域の課題を分科会で調査研究を行ってきたが、今年度は地域経営会議について地域協議会が協議していくということによろしいか。

(担当課) 分科会を行っていただいているので、支障のない範囲で地域内分権に関しても併せて地域協議会の場で協議していただきたい。地域経営会議を設立した神科・豊殿、川西、丸子地域のモデル地区3地区においても地域協議会の時間を利用して前半は地域内分権について意見交換し、後半は分科会に分かれて地域の課題解決に向けた調査研究を行っていただいた。

(委員) モデル地区では、現在どのような話し合いがされているのか。

(担当課) 先月モデル地区において第1回目の地域経営会議が開催された。まずは委員の皆さんが同じ目線になるように、地域内分権について説明し、意見交換をしながら認識を一つにした。また、それぞれの地域でどのような課題があるのか話し合ったり、先進地の視察先の検討を始めている。

(委員) 新たな住民自治組織とは地域経営会議を設立してそれを母体として設立するのか。

(担当課) まずは話し合いの場となる地域経営会議を設立いただき、様々御検討いただき中、最終的には住民自治組織設立につなげていただきたいと考えている。

(委員) 交付金を今年度制度化したいということだが、モデル地区のような地域経営会議が設立された地域はよいが、設立されていない地域は体制が整い次第配分されるということか。

(担当課) 交付金については、自治会や各種団体から構成される住民自治組織に対して市から交付したいと考えており、金額などの規模は現在検討中である。西部地域も住民自治組織が設立されれば交付金を交付したいと考えている。

(委員) 交付金は各地域どのように配分するのか。

(担当課) 交付金については現在制度設計しているところである。先進地での一例では均等割や人口割で算出している。これらも参考にしながら交付金制度について検討していきたい。

(委員) 今までの説明ではほとんど理解できない。西部地域には地域担当職員が未配置、交付金についても未定であり、第4ステージであるにも関わらず制度等全く整っていないことを疑問に思う。各地域に自治会や団体など色々な組織があるのにも関わらず、それらとは別組織として地域経営会議が設立するとなると、今までの自治会の活動が鈍るのではという懸念もあるし、影響力がでてくる心配もある。

(担当課) 地域内分権に関して、資料の文章も抽象的で理解できないという意見を多く頂戴している。次回以降不明な点を一つ一つ説明させていただき、意見交換をしながら少しずつ前進させていきたいと考えている。地域内分権の取組は行政としても初めてであり、住民の方の意見を聞きながら一歩ずつ前進させていきたい。市もいただいた御意見を参考にさせていただき、試行錯誤する中で地域に合った取組として進めてまいりたい。

また、住民自治組織が設立されることによって自治会の負担が減少できるように進めなければいけないとも考えている。

(委員) 自治会や各団体の代表者が集まっている地域経営会議の方が、自治会よりも上級機関のように感じられる。

(担当課) 地域経営会議は自治会や団体、市等が一堂に会して話し合いを行う場である。自治会よりも上位というより、各団体がそれぞれの立場で集まり、話し合う水平的な関係にある。

(委員) 最終的に住民自治組織を設立し、例えば 1000 万円の事業を実施する場合、市から交付金が交付されるということでしょうか。

(担当課) 交付金の使途は住民の皆さんで優先順位を決めていただき、活用していただきたいと考えている。

(委員) 交付金の範囲内で活動を考えるということか。

(担当課) 交付金の範囲内でもよいし、例えば市の交付金に西部・塩尻地域の自治会が更に 50 万ずつ出し合い、合算して地域の共通事業に活用していただくことも可能であると考えている。

(委員) 地域協議会委員が地域経営会議の委員になるのか。

(担当課) 地域協議会の委員の皆さんは様々な団体から選出されているので、地域経営会議の委員になることも考えられるが、委員構成については、地域協議会や自治会など関係の皆さんで話し合っ決めていただきたい。

参考までに神科・豊殿地域の場合はそれぞれの自治会長、地区振興組織、地域協議会委員から構成されている。川西地域は自治会長と地域協議会の委員全員、丸子地域は 26 人の自治会長から 5 人が代表に選ばれて、20 人の地域協議会委員の中から 6 人が参加している。市としては、地域協議会や自治会の皆さんにはぜひ参加していただきたいと考えている。

(委員) この話はこれまで継続して協議されてきたのではなく、時折市から説明を受けただけなので、委員が交代すると毎回同じような質問が出され進んだ感じがしない。市が進めたいという意向があるなら、モデル 3 地区の関係者から設立の経緯を聞き、質問した方が分かりやすいと思うのでぜひ機会を設けてほしい。

(担当課) 昨年度もモデル地区で説明を行う中で、同様の御意見をいただいた。しかし、委員の中には、先延ばしにすると地域協議会委員も自治会長も交代してしまうので、まずは地域経営会議を設立し、行政へ様々提案していけばよいのではないかという意見をいただき、設立につながった面もある。

モデル地区の方との懇談等を望まれるのであれば機会を設けたいと思う。

(委員) 地域内分権については以前から説明いただいているが、地域協議会の役割が明確になってない。まだ地域協議会として地域内分権を進めていくという共通意識が委員にはないように感じるので、地域協議会の役割などについて明確に提示していただきたい。

(担当課) 地域協議会には地域内分権を推進する役割を担っていただきたいと考えている。今後について

は事務局と正副会長で話を詰めて進めさせていただきたい。

(2)西部公民館施設整備(建物内のレイアウト案)についての中間報告

- ・事務局から、資料に沿って西部公民館施設整備のレイアウト案について報告・説明

(3)今後の予定

ア 第3回西部地域協議会

(ア)日時 平成27年6月25日(木)午後7時から

(イ)場所 西部公民館1階大ホール(和室)

イ 第4回西部地域協議会

(ア)日時 平成27年7月22日(水)午後7時から

(イ)場所 西部公民館1階大ホール(和室)

4 その他

- ・事務局から、上田市協働まちづくり指針について説明

5 閉会